

自動車管理(計画・変更計画書・報告)書

令和 6年 7月 29日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県彦根市河瀬馬場町922番地1

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
東びわこ農業協同組合
代表理事理事長 柳本 上司

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第44条第3項において準用する同条例第25条第3項・
第46条第1項・ 第46条第2項において読み替えて準用
第45条第1項
第46条第2項において準用する同条例第45条第1項

~~第44条第3項において読み替えて準用する同条例第25条第4項~~
~~する同条例第44条第3項において読み替えて準用する同条例第25条第4項~~

の規定に基づき、

自動車管理計画を 策定 (変更)
自動車管理報告書 を作成

 しましたので、提出します。

1 事業者に関する事項

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	東びわこ農業協同組合 代表理事理事長 柳本 上司		
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県彦根市川瀬馬場町922-1		
県内事業所数	25	事業所	
県内自動車使用台数	111	台	
自動車の使用に伴う 温室効果ガス排出量	216.2234202	t-CO ₂	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	3	年度	終了年度	5	年度
報告対象年度	5 年度					

3 計画(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

- ・配送の効率化を進めます。
- ・低燃費・低排出ガス対応車両を導入し、温室効果ガス排出量の削減に取り組みます。
- ・職員へのエコドライブ促進に取り組みます。

JA東びわこ組織図

令和6年3月31日現在

(子会社)
有限会社 ビー・ブリー
有限会社 アグロメディア

監事専門委員会
金融専門委員会
経済専門委員会

経営管理委員会

会長、副会長

特別委員会

人権対策推進委員会

理事会

代表理事専務長
代表理事専務

常設役員会

安全衛生委員会

監事会

代表監事

常設監事

監事事務局

本店

支店

彦根中央支店
彦根東支店
彦根南支店
彦根北支店
昌保本支店
桑名支店
美加川支店
ふれあい支店
稲枝支店
多賀支店
大滝支店
甲斐支店
河津山支店
豊田支店

経済担当業務

金融担当業務

総務担当業務

営業経済部

金融部

企画総務部

責任者：総務担当業務
(全体計画の見直しの承認)

実施責任者：総務部長
(方針の立案・決定、計画見直し
立案、現状確認、各部署へ検討
課題の指示)

各部署長
(取組の実施、点検、見直し等)

非課課
福祉課
経済課
経済振興センター
販売統括課
施設課
販売促進課
営業振興課
共済事務課
融資業務課
貸付業務課
資金運用課
推進指導課
金融企画課
総務人事課
事務管理課
くらしの手動巻
リスク管理課
リース管理課
企画課

虹のホール
福祉事業所
旅行部門管理
住宅相談
果樹通果
農産物検査
販売センター
お米センター
園芸特産
水田農業対策
TAC
子会社事務局

販売所

営農経済センター

施設

倉庫

船泊所、実材・配送センター

種苗事業所

紅のホール

・やわらぎ茶室
・ゆめが丘福祉
・やわらぎ同窓

・遊園地・バーン
・ゆめがいっぱいふたふた
・イ・サ・エ・C
・イ・サ・エ・Cふたふた

・臨時出張所
・運送材・配送センター
・乗客資材・配送センター

・栗畑中継CE
・緑地CE
・多賀PQ
・厚志CE
・駒倉南口
・駒倉南西
・栗林工場
・多賀そば施設

・空堀低灌漑
・高瀬常備倉庫
・空堀中継低灌漑
・藤井高瀬低灌漑
・松竹ファーストゾーン
・多賀低灌漑
・厚志社低灌漑

・やわらぎ館
・やわらぎ第二書庫
・やわらぎ資料もよう館
・養正館

・信濃商業経済センター
・受託資材搬出センター
・総務情報センター
・赤坂商業経済センター

備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

(第2面)

3 自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の削減に関する取組の内容

項目	取組の内容	目標達成確認指標				実施結果
			現状	目標	CO ₂ 排出量削減目標(%)	
自動車使用の合理化	車両の共有	1台当たりの年間総走行距離	145km	130km		本店管理公用車についてはJA東びわこの業務システムの設備予約で車両予約することで、部署間での調整により使用を行っている。
より温室効果ガス排出量が少ない自動車の導入	電気自動車、燃料電池車の導入	導入数	0台	10台		新しく更新する車両についてはアイドリングストップ車両、ハイブリット等の購入に努めている。
	ハイブリット車、天然ガス車の導入	導入数	1台	5台		新しく更新する車両についてはアイドリングストップ車両、ハイブリット等の購入に努めている。
次世代自動車等の比率を増やす取組	老朽車両の更新および台数の削減	2030年度の保有率	1%	10%		今後、老朽車両の計画的な更新と台数の見直しを進めます。
従業員に対する自動車使用に伴う温室効果ガス排出削減に関する教育	・職員へのエコドライブの周知 ・当JA管外研修等参加については公共交通機関の利用促進 ・自動車点検整備の励行	研修の実施	年1回	年3回		朝礼や研修にてエコドライブの呼びかけができました。管外研修においては、ほとんどの職員が公共交通機関を利用しています。
		上記による燃料の向上	15km/L	20km/L		
その他の取組						
				合計		

備考 現状や目標については、内容に応じ文章で表現しても構いません。